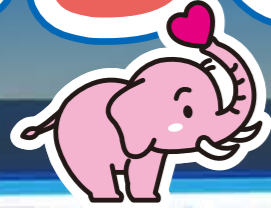


堺市立総合医療センターと市民の健康をつなぐ広報誌

# ぞうさん ひろば



2015年冬  
Vol.6

ぞうさん広場 平成27年12月10日発行 第6号 ●発行所 堺市立総合医療センター 〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁目1番1号 TEL:072-272-1199



## インタビュー特集 放射線診断科

新任スタッフ紹介 / 認定看護師紹介 / がんセンター特集 / 最近の出来事 / 登録医紹介  
市民健康講座の案内 / 年末年始の外来診療について / 業務状況報告 / 赤ちゃんコーナー / 今回のおすすめレシピ

## 当センターでたくさんの赤ちゃんが生まれています!



奏佑(そうすけ)くん  
2015年10月5日生まれ

### 奏佑くんへメッセージ

私をお母さんにしてくれて、ありがとう  
お母さんの子供でいてくれて、ありがとう  
お母さん一年生。てんこ舞いの毎日だけど、  
一緒に成長していけることを心から楽しみに  
しています。これからもあなたの“はじめて”を、  
たくさん見届けていきたいです。



紗良沙(さらさ)ちゃん  
2015年10月3日生まれ

### 紗良沙ちゃんへメッセージ

紗良沙のお父さん、お母さんになって  
毎日が幸せです。これからも  
すくすく元気に育ててね



秋斗(しゅうと)くん  
2015年10月9日生まれ

### 秋斗くんへメッセージ

四人兄弟の末っ子ちゃん。  
いっぱい笑って、元気にスクスクと  
大きく育ててね☆



寿々(すず)ちゃん  
2015年10月1日生まれ

### 寿々ちゃんへメッセージ

元気いっぱいな  
女の子になってね♪

### 今回のおすすめレシピ

### かぶの肉詰めあんかけ (1人前105kcal、塩分1.5g)



#### <作り方>

- ①かぶを葉と実に分ける。実は皮をむき、へたを切り分けて耐熱皿に入れる。料理酒をかけ、ふんわりラップをして電子レンジ(500W)で3分加熱する。加熱後、スプーンで中身をくりぬぎ、中身は細かく刻む。
- ②Aと刻んだ中身を混ぜ、実に詰める。ふんわりラップをし、電子レンジで5分加熱する。(火の通りをみて加熱時間は調整して下さい。)
- ③小鍋でBの材料を煮立て、葉を茹でる。葉がしんなりしたら取り出し、食べやすい大きさに切る。残りの出汁に水溶性片栗粉を加えとろみを付ける。
- ④皿に盛り付け、あんをかければ完成。

#### <ひとことメモ>

かぶの葉にはβ-カロテンやビタミンB1、カルシウムや食物繊維などが豊富に含まれています。捨てずに一緒にとりましょう。  
栄養管理科 林 佑紀

#### <材料 2人前>

|             |        |                       |       |
|-------------|--------|-----------------------|-------|
| かぶ          | 2個     | ○あん                   |       |
| 料理酒         | 大さじ1   | 水                     | 200ml |
| 鶏ひき肉        | 60g    | めんつゆ                  | 大さじ3  |
| 塩           | 少々     | 生姜のすりおろし              | 小さじ1  |
| めんつゆ(ストレート) | 大さじ1   | 塩                     | 少々    |
| 片栗粉         | 大さじ1/2 | 水溶性片栗粉(水大さじ2・片栗粉小さじ2) |       |



JR津久野駅から徒歩約5分



地方独立行政法人 堺市立病院機構

## 堺市立総合医療センター

SAKAI SAKAI CITY MEDICAL CENTER

〒593-8304 堺市西区家原寺町1丁目1番1号 TEL 072-272-1199

<http://www.sakai-city-hospital.jp>

# 新任スタッフ紹介

当院に新しく医師が着任しました。よりよい診療体制の整備に向けて、新しい仲間とともに当院の理念である「全ての患者さんの権利と人格を尊重し、安心・安全で心の通う医療を提供します」を目指し、今後も務めてまいります。



## ●中平(なかひら)医師

【氏名】中平 伸(なかひらしん)  
【診療科】肝胆膵外科  
【出身地】愛媛県  
【出身大学】徳島大学  
【特技・趣味】JAZZ BAND  
高槻JAZZ STREET等で活動しています。  
【抱負・自己PR】肝胆膵の内視鏡外科領域では国内有数の経験と技術を持っています。



## ●高岩(たかいわ)医師

【氏名】高岩 卓也(たかいわ たくや)  
【診療科】呼吸器内科  
【出身地】大阪  
【出身大学】京都大学  
【特技・趣味】スポーツ観戦  
【抱負・自己PR】エビデンスに基づいた医療を心掛けます。



## ●澤田(さわだ)医師

【氏名】澤田 元太(さわだ げんた)  
【診療科】外科  
【出身地】大阪  
【出身大学】弘前大学  
【特技・趣味】バスケット  
【抱負・自己PR】患者様にとって最良の医療を提供できるように頑張らせて頂きたいです。



## ●立石(たていし)医師

【氏名】立石 明広(たていし あきひろ)  
【診療科】脳神経外科  
【出身地】鹿児島県  
【出身大学】大阪大学  
【特技・趣味】ジョギング、釣り、自転車、チェロ、家庭菜園  
【抱負・自己PR】低侵襲治療を心がけています。

# 「皮膚・排泄ケア認定看護師」のお仕事

「はやく・きれいに」をモットーに、  
全力でケアに取り組みます。

7月の三次救急開設以降、緊急手術が増加、手術後の傷やストーマ(人工肛門)の管理が増える中、床ずれを併せ持った患者さんも多くなりました。

当院に在籍する皮膚・排泄ケア認定看護師は、他職種とチームを組んでSSI(術後の離開創)回診や褥瘡(じよくそう)回診を行い、早く回復できるように支援し患者さんが安心して療養できる環境をつくっています。

皮膚・排泄ケアの領域は、「床ずれ」「ストーマ」「失禁」を中心に、ろう孔やフットケアなど多岐にわたります。専門的知識と技術を駆使しながら、多くの患者さんと関わりさせていたできました。治療だけでなく、予防を視点において患者さんと一緒に再発防止に努める、きちんとしたスキンケア方法を習得して健康な肌を導く、難渋する症例にも諦めない精神で解決の糸口を探し求める、そんな思いで患者さんやご家族に寄り添ってき

ました。

どんなによいお薬でも、やはり基本となるのは「ケアの方法」です。正しい知識を持つことで、予防できることはたくさんあります。『患者さん一人ひとりに合った最も良い方法を、一緒に考える』姿勢を大切にしたいケアを心がけています。

## 円滑な退院支援に向けた、 当院の取り組み

堺市で初めての三次救急は、開設当初から24時間絶え間ない救急搬送の日々が続いています。しかし、その一方で退院したくても傷や床ずれのケアのために退



【実際の光景】皮膚・排泄ケア認定看護師が、訪問先で施設の看護師さんと一緒に直接ケアを行っています。

院できない患者さんも多く、入院と退院のバランスに偏りが生じています。転院医療施設と私たちとの連携は大切ですし、また自宅に帰る場合でも自分で必要なケアができれば、転院や退院ができないこともありません。そこで、患者さんやご家族が安心して次の療養施設へ移行できるよう、在宅だけでなく転院先へも「同行訪問や後日訪問」を行う取り組みを開始しました。

同行訪問は、当院に入院中の患者さんと、転院先の施設や在宅へ一緒に同行させていただき、施設側の看護師さんや訪問看護師さんに、ベッドサイドで直接ケア方法を相談させていただくものです。限られた人的資源の中で最大のケア方法を見だし、継続看護に繋がります。また、施設側の看護師さんにとっても直接認定看護師へ相談できる場として、多くの疑問を投げかけていただき、私自身いつも勉強になります。後日訪問も同様、当院に在院していた患者さんのケア方法に難渋した場合など、希望が

あれば早期に訪問するよう調整しています。

傷や床ずれの評価の為に再度訪れた時には、患者さんやご家族も喜んでいただき、ケアを継続していただいている看護師さんたちからは「自信に繋がった」という言葉を頂きました。別の施設では、「認定看護師さんに看てもらえると思うと、私たちが安心です」と言ってくれた看護師さんもいらっしゃいました。「顔のみえる」繋がりを設けることで、患者さんも高度急性期を脱した直後から、リハビリ期はリハビリ型療養施設など、療養環境にあった治療やケアを受けられる体制が早期から可能になると考えています。

「なかなか治らない」「このケア方法でいいのかなあ」そんな不安を抱えられている患者さん、ご家族、看護師の皆様の力になれるよう、これからも頑張りたいと思います。

看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師

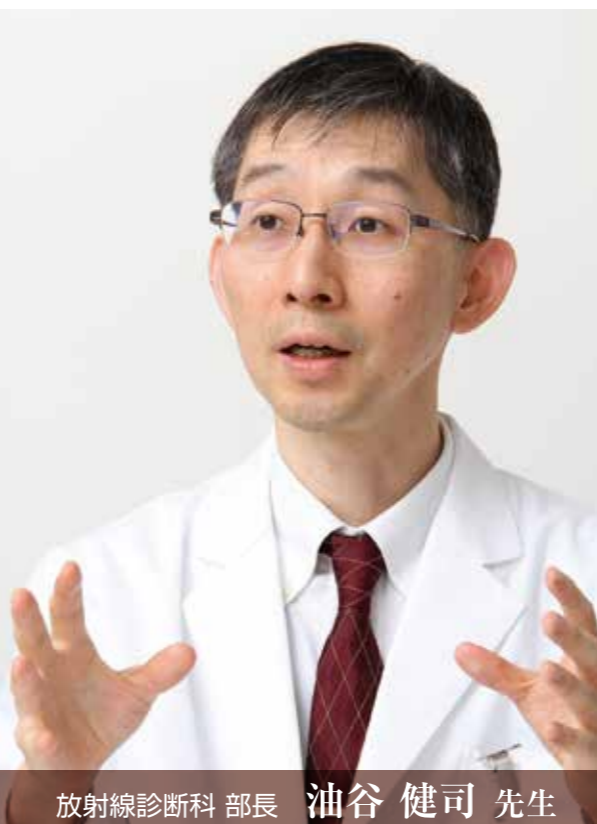
南部 真里恵

看護師には、こんな専門職があります

# 放射線診断科の画像診断技術は 病院の診療レベルを左右する基幹技術。

意外に知られていない放射線診断科の重要な役割。実は病院にとって、なくてはならない縁の下の力持ちです。  
今回は放射線診断科の部長である油谷先生にお話を伺いました。

前号の「ぞうさん広場5号」インタビュー特集では「放射線治療科」が取り上げられました。今回は「放射線診断科」です。名前は少し似ていますが、内容はまったく違います。放射線治療科は放射線を照射することに、より治療を行うところですが、



放射線診断科 部長 油谷 健司 先生

放射線診断科は放射線などを用いて撮影された画像を分析することで、病気の有無や進行状況を診断するところです。

**患者さんの診療に欠かせない「画像診断」というプロセス**

私の持ち場である放射線診断科には、大きく分けて「画像診断」と「IVR（カテーテル治療）」の2つの柱がありますが、

この画像診断のレベル（力量）は医療施設によって異なりますが、病院の診療レベルを左右する非常に重要なものです。放射線診断医が見つけた病気により、

治療法です。カテーテルを血管内に入れて血管の様子を撮影する血管造影という検査があり、この手技を応用します。当センターでは特に肝腫瘍に対する肝動脈塞栓術を行っています。これは腫瘍に行く動脈にカテーテルを挿入し、そこから抗がん剤や塞栓物質を流して血流を止めることで腫瘍細胞を死に至らしめる方法です。

これらの治療分野は近年大きく発展しており、放射線診断医の高度な技術や、最新の放射線撮影装置を備えた病院の重要性が増えています。

**当センターの放射線診断医の役割と今後の展望**

画像診断技術の進歩に伴い、撮影される画像の枚数は年々増加しています。当センターでは平日の開院時間以外の夜間や休日にも救急患者を受け入れ、積極的に画像診断を行っており、私たち放射線診断医はそのすべての画像に目を通しています。

また、画像診断という役割柄、他診療科との連携を大切にし、随時情報の交換や診断、治療方針の検討を行っています。



放射線診断科のスタッフ(左から川田先生、宮田先生、栗生先生、油谷先生)

ることで、より鮮明な画像が得られ、的確な診断が可能となります。当センターにおいても、新病院移転とともにこれらの撮影装置は最新のものとリニューアルされました。中でも救命救急センターに設置された自走式CTは特筆すべきもので、患者さんを寝台から動かすことなく、CT本体を自走させて撮影する

**画像診断技術を基にしたIVR（カテーテル治療）**

ことが可能であり、手術中などのCT撮影を可能にしています。インターベンショナル・ラジオロジー（IVR）と呼ばれる治療分野があり、一般的にはカテーテル治療などと呼ばれていますが、これは画像診断技術を基にした

治療方針が大きく変更されることもよくあることで、医療現場に携わる人たちは画像診断の重要性をよく認識しています。

画像診断は、装置に任せていれば診断可能な写真が撮影できるといっていただけではありません。例えば、造影剤という薬を使ってCTやMRIの撮影をする場合に、造影剤の種類、量、投与する速度、撮影のタイミング、撮影回数などが適切でないと、診断可能な写真が撮れません。目的に応じて適切な撮影計画を立てることも放射線診断医の大切な仕事です。

一方で、CTやMRI、血管撮影装置は、時代とともに飛躍的な進歩を遂げており、よりグレードの高い最新の装置を使用する。今後はさらなる画像診断技術の向上が見込まれますので、私たち放射線診断医は新たな知識を身につけるため日々努力し、患者さんのより良い治療に貢献したいと願っています。

**新病院移転を機に最先端装置を導入**



■SPECT-CT  
核医学画像とCT画像を融合させ、体内のどの部位にRIが集積しているか、明瞭に診断できる画期的装置。



■MRI  
データ収集方法がフルデジタルとなっており高画質な画像を短い時間で得られます。



■自走式CT  
CT本体が移動することで患者さんの移動を最小限に抑えて病変や立体内画像の撮影が可能です。

# 当院のがんセンターは化学療法センター、放射線治療センター、がん相談支援センター、緩和ケアチーム等を統括するがん医療のための総合医療施設です。



がんセンター長  
大腸肛門外科部長 辻江正樹

現在、日本人の2人に1人は、

一生のうちには一度は何らかのがんに罹り、また3人に1人はがんにより亡くなると考えられています。このようにがんは誰にでも起こる可能性のある国民病の一つです。一方、堺市では以前よりがん検診受診率、精検受診率が低く、早期に発見すれば完治できたはずの患者さんが、進行がんになってから発見され、外科手術、抗がん剤治療、放射線治療などの身体への負担が大きい治療を受けざるを得なくなっている場合が相当数あると考えられています。さらに、医療技術の進歩とともにがん治療の期間は長くなり、手術等の積極的・侵襲的な治療の間だけでなく、その後の療養期間を含めた環境を整えること

が求められています。

このような背景のもと、がんセンターは平成16年、がん診療を統括する部門として、旧市立堺病院内に設立されました。平成21年3月には当院が大阪府指定のがん診療連携拠点病院に、平成26年8月には国指定の地域がん診療連携拠点病院に承認されています。その中で、がんセンターは、化学療法センター、放射線治療センター、がん相談支援センター、緩和ケアチーム等のがん診療連携に関わる各部門を統括し、堺市二次医療圏におけるがん医療の質向上を目指して、がん診療に関わる診断から治療、緩和ケアに至る切れ目のない医療環境を提供できるよう、日々活動を行っております。

がん治療においては、早期発見、早期治療が非常に重要であると

言われています。そのため検診が大切な役割を果たしています。検診の内容やその目的を、広く一般の方々に知って頂き、検診を受けて頂くだけではなく、要精検と指摘された場合に、必ず精密検査を受けて頂けるよう啓蒙していく必要があると考えます。当院の予防健診センターで行っている検診についても実際のニーズに即した内容に見直ししていく予定です。

また、がん治療においては、地域の医療機関の方々との連携も非常に重要です。当院でも他のがん診療連携拠点病院、地域の診療機関、あるいは堺市などと、堺市医療圏がんネットワーク協

議会等の様々な地域連携活動を行っています。さらに、地域の皆様に、当院で行っているがん専門医療、チーム医療、地域連携の内容をよく知っていただくために市民健康講座、講演会等の啓蒙活動を行い、この7月には、がん患者さんの情報交換の場として

がん患者・家族サロンを開設しました。また、がん統計部会よりがん情報公開の一環として当院のがん登録情報をホームページで公開しています。今後もがんセンターが中心となって、この地域で治療を受けられる患者さんにとって安全で安心な療養環境、療養情報を入院中にも通院加療中にも提供できる地域完結型の満足度の高いがん診療を展開していきたいと考えております。

## NHK「総合診療医ドクターG」に山田裕揮医師出演！

当院初期研修医の山田裕揮医師が10月22日放送のNHK「総合診療医ドクターG」に出演しました。出演が決まった時の心境や裏話などを伺いました。

### 最近の出来事

#### 出演が決まった時の心境は？

感謝、そして育ててくれた親への小さな贈り物に

医学生の中から僕も「ドクターG」という番組はよく観ており、和歌山にいる母親、祖父母が大好きな番組だったので、本当に嬉しかったです。番組の選出



委員会でも推薦をしてくださった先生がいらしたとのこと。この貴重な機会を与えてくださったことに心から感謝しています。

#### ドクターGの裏話は？

台本・打ち合わせは一切なし

あの番組、当日の場所と時間以外、誰がドクターGかも含めて何も事前情報は与えられず、完全に台本はありません。ドクターGの医師も当日番組収録直前に知らされます。収録は三時間ほどで一回休憩はありますが、ケータイなど情報を得るものももちろん前もって鍵のかかった部屋に監禁です。ルールは、一般の人も読めるように日本語で記載することや、元氣よくハキハキ話して下さいね！とのことでした。

後は考える時間がすごく短かったです。本当に三〜五分程度で「はい、カメラ回しますね〜」てな感じでした。

ご自身が出演したテレビを見た感想は？(放送の中で発言した「文字だけヒントを下さい」)

ここカットちゃうんかい(笑)でした。

最後、レプトスピラ症だろうというところで抗菌薬加療開始後に患者さんがショック状態、重度の意識障害となったとき、周りの人は抗菌薬のアレルギーか抗菌薬が外れていたのではと話して「レプトスピラ症は誤診では？！」なんて話になっていました。私はVTRを観てやはりレプトスピラ症だったか、と思いました。なぜならレプトスピラ症を始め「スピロヘータ属(梅毒も含む)」では抗菌薬により一気に死滅した菌体が全身に巡ることで炎症性サイトカインが惹起されて全身状態が悪化する、ということを感じたからです。しかし、その反応名までは余りに過去の

情報だったので正直すぐに思い出せませんでした。休憩中にプロデューサーが「変なこと話してもどうせカットされるから肩の力抜いて！」とアドバイスを下さっていたので、その反応名を聞かれたとき「ど忘れしてしまっていたので一文字だけヒントを下さい(笑)」と言いました。「や」というヒントを頂いたときに思い出して「Jarisch-Herxheimer(ヤリーシシュ・ヘルクスハイマー反応)」と答えました。このヒントの下り、絶対カットされるかと思っていたのに…笑 関西人としては、いじって頂けたことは有り難い限りですが、笑

最後にこのような本当に貴重な機会を下さった番組制作者・ゲストの皆さん、共に出演して下さいました。晴美先生に感謝です。一生の思い出です。いつかドクターGとして戻っていきたいです。

# 西区鳳南町 えずみクリニック

## 江角 晃治 先生



### ■当院の特長

当院の方針は、何科を専門的に診るといっても、内科・外科ともに広く診るといふことです。「何か分からないけど体調が悪い」「何か分からないけど痛みがある」、このような場合、あまり考え込まずにとりあえず当院にお越しください。当院で診断するとともに、当院で診られるものは当院で診ますし、より専門的な診療が必要な場合は専門医をご紹介します。地域のみなさんにとって、医療のための水先案内人となることを心がけています。

### ■地域の皆様へのメッセージ

がん検診をきちんと受けて欲しいですね。堺市は検診受診率が

とても低いのです。自覚症状で

勝手に大丈夫だと判断してはダメです。何も症状がなくても定期的に検診を受けるべきです。

タレントの北斗晶さんが乳がんを告白してから、乳がん検診を受けに来る人がすごく増えました。胸が痛いから診てほしいと言ってくるのですが、乳がん自体では痛みは発生しないのです。がんとは関係ない他の症状です。その旨お伝えしますが、痛みが心配で来られた患者さんには、「これを機会に今後きちんと定期検診を受けてください」と伝えていきます。地域のみなさんにも、ぜひ定期検診を受けていただきたいです。



堺市西区鳳南町3丁199番12号  
アリオ鳳2階  
★JR阪和線「富木駅」より徒歩約11分

☎072-260-0511

http://ezumi-clinic.com/

診療科目／内科、消化器科、肛門科、  
外科、禁煙外来

| 診療受付時間      | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 10:00～13:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 16:30～19:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |

# 西区津久野町 岡原クリニック



### ■当院の特長と私のモットー

当院は子どもからお年寄りの方まで、家族みんなのかかりつけ医として幅広く医療を提供しています。周辺の医療機関と連携をとりながら地域医療を実践する地域に根ざしたクリニックです。診療科は消化器内科、外科、小児科、リハビリテーション科を設けています。勤務医時代の専門は外科ですが、かかりつけ医として幅広く患者さんを診たいという思いで平成12年に開院しました。

### ■禁煙外来にも注力

近年は禁煙外来にも力を入れており、保険診療での禁煙指導を行っています（※保険治療には一定の条件があります）。禁煙したいが自分ではやめられない、子供ができたので禁煙したいといった方は、ぜひ当院までご相談ください。禁煙指導専門医としてみなさんの禁煙をサポートします。当院で禁煙指導を受けられた方の7割以上が禁煙に成功しています。



西区津久野町3-27-50  
★JR阪和線「津久野」駅から徒歩3分

☎072-267-6789

http://okahara-clinic.or.jp/

診療科目／消化器内科、外科、小児科、  
リハビリテーション科

| 診療受付時間      | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 17:00～19:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |

# 高石市東羽衣 おおさわクリニック

## 大澤 英寿 先生



### ■当院の特長

当院は総合診療所として開院しました。診療科目は内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・外科・肛門外科・リハビリテーション科のほか、禁煙外来やED外来、訪問診療なども対応。要は町のなんでも診られるお医者さんとして、診療を行っています。当院は小児科の看板は掲げてないのですが、実際は小さなお子さんもたくさん来られます。また、急な発熱や下痢、嘔吐、喘息発作、外傷など、時間外でも対応できるよう努めています。リハビリテーション科においては、肩こり・腰痛・関節痛の治療なども積極的にを行っています。

### ■私の診療モットー

私の心がけていることは、とにかく一つ一つのこと真面目に取り組むことです。例えば、訪問診療の場合は、患者さんを診ることはもちろんですが、患者さんだけでなく患者さんの家族の話も聴き、診療もします。地域のケアマネージャーさんからの情報で、訪問診療に伺うこともよくあります。当院はなんでも診られるお医者さんを目指していますが、当院で診ることができない患者さんは、より専門的な病院をご紹介します。患者さんにとっての最善を常に図ります。



高石市東羽衣3丁目2-2  
★JR阪和線「東羽衣」駅、  
南海本線「羽衣駅」から徒歩1分

☎072-262-1020

http://ohsawa-clinic.com/

診療科目／内科・循環器内科・消化器  
内科・神経内科・外科・肛門外科・リハ  
ビリテーション科

| 診療受付時間      | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 17:00～19:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |

# 高石市千代田 やだクリニック



### ■当院の特長と私のモットー

当院は、内科、外科、消化器科、肛門科を診ていますが、専門は消化器（胃腸）です。胃腸に関しては、胃カメラや超音波の検査を通して、病気の早期発見、早期治療を心がけています。通院が困難で、ご自宅で療養を希望される方に対しては、訪問診療も行っています。決められた曜日以外に訪問しますが、訪問診療日以外や土日、夜間も対応しています。

### ■私の健康法とメッセージ

私は毎朝、腹筋とストレッチを行うような心がけていて、もう20年以上続けています。趣味はゴルフを少々。健康を保つにはやはり適度な運動が必要ですね。そして、患者さんにも言っていることです。食事は夜は少なめに、朝・昼はきちんと摂るといふことです。そのようにしていれば、体重も減りますし、血圧も下がります。生活習慣、食習慣を見直せば、生活習慣病の改善にもつながりますので、みなさんにもぜひお勧めします。



高石市千代田1丁目11-1  
★南海本線「高石駅」から徒歩1分

☎072-320-4105

http://yada-clinic.com/

診療科目／内科、外科、消化器科、  
肛門科

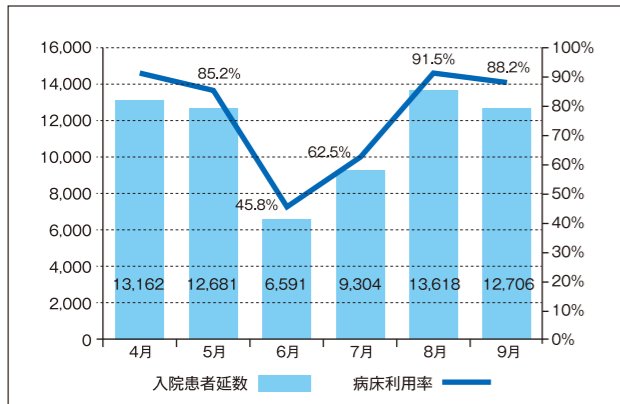
| 診療受付時間      | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30～12:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 17:00～19:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |



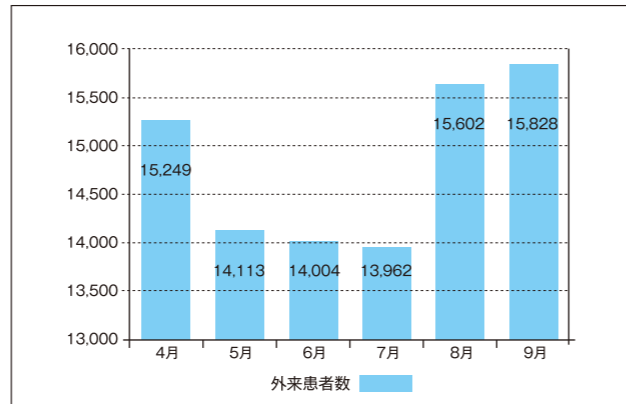
# 堺市立総合医療センター統計情報

平成27年度上半期の統計データを公開します。

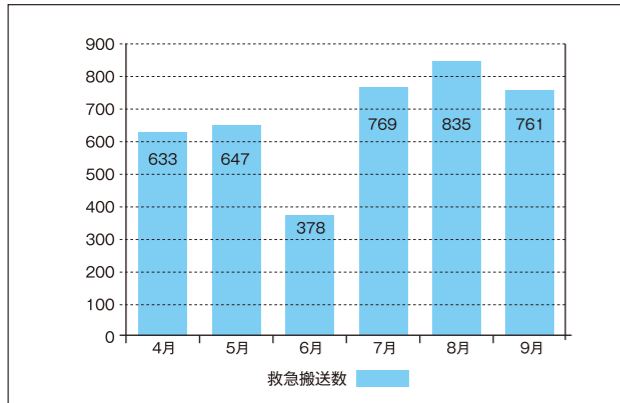
## ■病床利用率



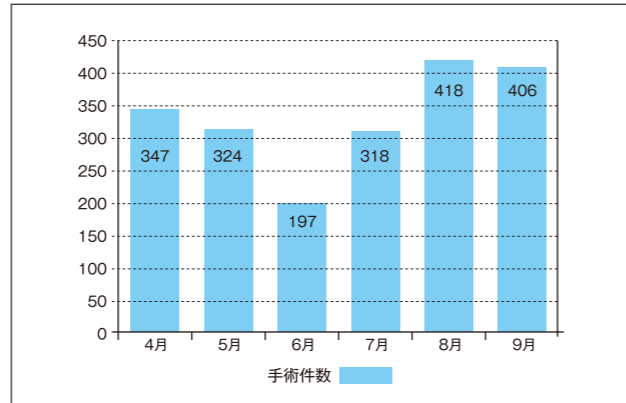
## ■外来患者数



## ■救急搬送数



## ■手術件数



# 市民健康講座のご案内



当院では地域の皆様の健康の保持と増進を図ることを目的に、市民健康講座を定期的開催しています。医師を中心とした各分野の専門家が、身近な医療をテーマに詳しく解説いたします。どうぞお気軽にご来場ください。

## ■市民健康講座予定表

| 開催日    | 時間     | 内容                           |
|--------|--------|------------------------------|
| 12月11日 | 14時から  | 頭部外傷と高次脳機能障害                 |
| 12月17日 | 14時から  | 心不全が悪くならないために必要なこと           |
| 1月14日  | 14時から  | 足のむくみと下肢静脈瘤                  |
| 1月21日  | 14時から  | ウイルス性肝炎治療の進歩                 |
| 2月 4日  | 14時半から | 体にやさしい大動脈手術                  |
| 2月 8日  | 14時から  | 糖尿病                          |
| 2月18日  | 14時から  | がんセンター                       |
| 3月10日  | 14時から  | 膠原病                          |
| 3月13日  | 時間未定   | 救急医療について（院外での開催のため事前申込が必要です） |
| 3月17日  | 14時から  | 糖尿病                          |
| 3月17日  | 16時から  | 整形外科                         |
| 3月23日  | 13時から  | 泌尿器科                         |

※予定は変更になる可能性があります。講座の詳細内容、今後の講座については広報さかい、当院ホームページなどでご案内いたしますのでご確認ください。

# 堺市立総合医療センター 公式 SNS はじめました!

Facebookでいいね!  
www.facebook.com/sakai.city.medical.center/

LINEで友だち追加  
http://accountpage.line.me/okn3978i

Twitterでフォロー  
https://twitter.com/Sakai\_CMC

Google+でフォロー  
https://plus.google.com/114988341092655734472/about

公式ホームページ <http://www.sakai-city-hospital.jp/>

# 年末年始のお知らせ

年末年始にかけての外来診療は以下のとおりです。

| 12/27(日) | 12/28(月) | 12/29(火) | 12/30(水) | 12/31(木) | 1/1(金) | 1/2(土) | 1/3(日) | 1/4(月) |
|----------|----------|----------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|
| 休診       | 通常診療     | 休診       | 休診       | 休診       | 休診     | 休診     | 休診     | 通常診療   |

なお、救急診療は行いますのでお電話のうえ、来院してください。